



音楽集会 3年生

今日19日(木)は、朝から音楽集会がありました。今回の集会では、3年生が発表してくれました。3年生は、歌とリコーダーの発表をしてくれました。まず「あの雲のように」は、3拍子のゆったりとした曲調です。そこには、大空に浮かぶ雲を見上げて夢をふくらませる心情を表す歌詞がありますが、その意味を生かしながら歌いました。さらに旋律の上がり下がりを感じ取りながら、リコーダーの演奏を工夫していました。次に「ふじ山」は、歌詞の内容をしっかりと考えて歌っていました。一番の歌詞には、山頂が雲や雷雲より高い位置にあるという日本最高峰の雄大さが、二番の歌詞には、空・雪・霞と共に見る富士山の美しさが歌われています。さらに二番は富士山を擬人化して、雪化粧や霞を着物に例えているところが、素敵ですね。しかも、高い、美しいという言葉は歌詞に入っていないのに、光景をありありと想像できます。ラストの歌詞に「ふじは日本一の山」という部分がありますが、そこに向かう上行の旋律と最も曲が盛り上がるころの関連に気付いて、表現の工夫に生かしていたところは感心しました。

音楽専科の力田先生によると、「『あの雲のように』では、曲の雰囲気合った優しい声とリコーダーの音色を聴かせてくれました。また『ふじ山』は、曲の山を意識しながら堂々と歌うことができました。聴いている人が雲に乗って旅をしている気分になれたと思います。」と3年生の発表についての感想を述べています。

最後に音楽委員会の子供から、イントロクイズがありました。イントロには「さんぽ」「世界中の子供たちが」が流されました。子供たちは、曲が流れるとすぐに「はい!」「はい!」と手を挙げ、夢中になりました。

感想交流では、2年生の子供は「『🔴 帯西レッド』の心が伸びました。わけは、姿勢よく発表を聴くことができたからです。」と発表し、6年生の子供は「『🟢 帯西グリーン』の心が伸びました。3年生がリコーダーと歌を一生懸命演奏していて、音楽会とは違う姿を見せてくれたからです。」と発表しました。ここには、3年生の子供たちの新たな一面を発見したという思いが込められています。そのお返しとして3年生の子供は「『🔴 自分を育てる心』が伸びました。家で練習したりたくさん歌う曲を聴いたりして練習したからです。」と応えていました。

3年生の子供の感想にもあるように、今回の音楽集会に向けて、努力を重ねる子供たちが多かったようです。今回発表してくれた曲は、歌詞の内容や旋律に特徴があり、子供たちもそこに気付いて表現の工夫を感じることができ、感動しました。

また、音楽委員会の皆さんも、陰でしっかりと集会を支えてくれてありがたかったです。寒い朝でしたが、心が温まる音楽集会になりました。

